

香川県立保健医療大学リポジトリ

Comprehensive assessment of oxidative stress degrees and anti-oxidant potential in dialysis patients

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2021-03-02 キーワード (Ja): キーワード (En): d-ROMs, BAP, Dialysis treatment, Oxidative stress, Anti-oxidant potential 作成者: Miyagawa, Akemi, Tateishi, Kinya メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.50850/00000331

学位論文審査の結果の要旨

令和2年9月16日

主 査 奥田 潤
副 査 中村 丈洋
副 査 立石 謹也



学位申請者	所 属 領 域	保健医療学研究科博士後期課程 病因解析検査学領域
	学籍番号 氏 名	217DS01 宮川朱美
論文題目	Comprehensive assessment of oxidative stress degrees and anti-oxidant potential in dialysis patients.	
学位論文の審査結果		合格
<p>〔論文審査結果の要旨〕</p> <p>① 透析治療持続時間は何時間でしたか？ → 今回の対象者全員 4 時間でした。</p> <p>② 透析前後の比較において採血のタイミングは？ → 透析セッション直前と直後です。</p> <p>③ 透析セッション1 時間後、2 時間後についてはどうでしょうか？ → 興味あるところですが、患者負担が大きいため難しいと考えます。</p> <p>④ 今回の提案について、どのくらいの頻度で検査すればいいと考えますか？ → 施設によっても違うと思いますが、透析前採血は 2 週間に 1 回実施しています。透析後採血は 3 か月に一回程度の実施がいいと思います。</p> <p>⑤ なぜ 3 か月なのですか？ → 現在、キナシ大林病院において、透析後採血は 6 か月に 1 度のため、3 か月に 1 回はしたほうがよいと考えました。根拠はありません。申し訳ありません。</p> <p>⑥ 提案の項目を測定することによってどんなメリットがありますか？ → 透析直後は、血圧が下がる等、患者の体には負担がかかっています。酸化ストレスが増加すると、心臓に負担がかかるとも言われていますので、酸化ストレスを把握することは必要と考えます。</p> <p>⑦ 当初は透析により酸化ストレスが下がると思っていたが、結果は逆に上がったということでしょうか？ → 酸化ストレス度は除水の影響で増加していますが、抗酸化力は実際に透析セッションで低下しています。BAP テストと d-ROMs テストの比で酸化ストレスを評価すると酸化ストレスは増加していると思います。酸化ストレスを総合的に評価する研究です。</p> <p>⑧ 学術セミナーの時は、別のストレスマーカーの検討も実施するといわれていたと思いますが、他のストレスマーカーの検討は実施しなかったのでしょうか？</p>		

→先生からご提案いただいた尿中 8-OHdG は検体が尿のため、透析患者さんから尿を採取することは難しいと考え、断念しました。

⑨ ヘマトクリット値と d-ROMs テストの相関は何を意味しているのでしょうか？

→透析前後のヘマトクリット値の増加率は除水による血液の濃縮と考えました。ヘマトクリット値と d-ROMs テストが相関があるため、d-ROMs テストの増加も除水による濃縮の影響ではないかと考えます。

⑩ 今回、比較した他の生化学項目は、有意差はなかったのでしょうか？ちなみにクレアチニンはどうでしたか？

→多くの項目で有意差がありました。クレアチニンは相関係数 0.4 くらいでした。

⑪ 多くの検討をされていたのであれば、表にまとめて提示したほうが良かったと思います。

→わかりました。ありがとうございました。

⑫ 鉄やビタミン C の内服者が対象者に含まれていましたが、対象者から除いたほうが良かったと思いますがいかがでしょうか？

→鉄およびビタミン C 内服の有無について有意差を検討いたしましたが、有意差はありませんでした。患者背景にて有意差があったものは、報告したように年齢と透析歴のみでした。

⑬ 相関の高さを過去の報告等を用いて、効果量で検定しましたか？

→検討していません。ただ、今回、相関があった項目に関しては、過去に報告がないと思います。効果量の検討につきましては不勉強なため、今後勉強していきたいと考えます。

⑭ 本研究の限界についてはどう考えていますか？

→透析治療自体が未知の部分が多いため、臨床検査技師の立場では、透析セッションにより除去されるものや蓄積される物質を測定し、評価することしかできません。

⑮ 透析セッション直後と比較して、時間が経つと直後の結果よりよくなっているかもしれません。今後、時間軸も取り入れての検討をお願いします。

→わかりました。ありがとうございました。